

中原小ホットニュース⑨

ぎんなん祭



二日(土)に、創立一五〇周年記念式典が行われました。全校児童が二学年ごとに分かれ、地域の魅力や自然、歴史について学んだこと寸劇などで発表しました。卒業生で警視庁警察学校助教の鞭馬裕輝さんの記念講演やお笑いステージ、県警音楽隊の演奏もありました。

じぶんのはっぴょうでがんばったことは、まのとりかたです。れんしゅうのときは、あまりやまるときにすらすらよめなかったからです。ほかのがくねんのはっぴょうをみて五・六ねんせいが大きなこえではっぴょうしていいとおもいました。一年 あおい

もじもじしましたが、大きな声がでてよかったです。三・四年生がえいごのセリフをつかっていいと思いました。五・六年生が大きな声を出してすごいと思いました。二年 そうすけ

五・六年のはっぴょうでタイムスリップしたのがお姉ちゃんのきゆうしよくを食べているところだったのがびっくりしました。三・四年のはっぴょうではしんたろうさんが「こんにちは」と言ったりはるたさんが「この土はかたか。」と言ったりしておもしろい方だなど思いました。二年 しゅうき

一番心にのこったことは、中原川でカヌーを遊んでいたことです。わけは、今は中原川でおよいだりカヌーをしたりしていません。ぼくも中原川でカヌーをしたことです。三年 わかまる

ぎんなん祭の五・六年生の発表で初めて知ったことは、全校児童できゆう食を食べていたということです。むかしの子どもたちは、中原川で泳いだりカヌーをしたりしていたということにおどろきました。三年 こう

心にのこったことは、二つあります。一つ目は、自分の目標が達成できたことです。目標は、大きな声ではっきりセリフを言うことでした。二つ目は、一五〇周年&ぎんなん祭が大成功したことです。ぼく達の発表では少しセリフがとんでしまったけれど、さい後までげきをつづけることができて良かったです。四年 りく

ぼくが、げきで特にがんばったことは、声を大きく出したことです。げきでは、見ている人がたくさんいてきんちようしたけれど、ちゃんと大きな声で言えてよかったです。げきの最後に歌った校歌でいちばん大きく声をだしました。来年も大きな声をだしたいです。五年 けいご

ぼくがげきで心にのこったのは、二つあります。黒子役です。じゅんびがたいへんでした。れんしゅうのときみたいになってよかったです。二つ目は、ナレーターです。大きい声でセリフをいえました。まちがえたけれど、うまくいきました。五年 ひりゅう

ぎんなん祭で劇をしました。セリフの量が多く、何回もはけたり出てきたりする所があり、覚えるのは少し大変でした。発表が良くなるようにジェスチャーを入れたり片付けや準備がどうしたら速くなるかなど、みんなで考え工夫しました。みんな力を合わせて最後までがんばった素晴らしい発表になりました。六年 なつな

低学年の発表は、言葉も聞き取りやすくすごいいいと思いました。中学年の発表は見られなかったけれど、大きな声を出していたので、声は聞くことが出来ました。私達高学年の発表は、みんな大きな声が出ていたし、表現も大きくできていたので、良かったと思います。小学校最後のぎんなん祭は楽しかったです。六年 あおい